

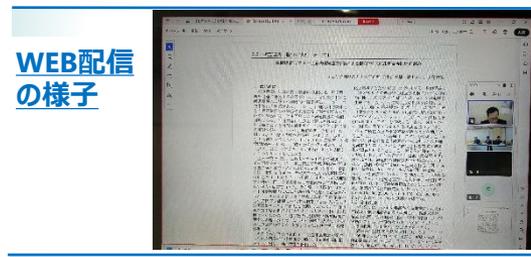
大規模土砂災害に関する研究成果を報告！

～令和7年度 大規模土砂災害対策研究機構会議 及び 現場視察を開催～

- 大規模土砂災害対策研究機構（委員長：京都大学大学院 小杉教授）は、平成23年紀伊半島大水害を契機として、紀伊山系における大規模土砂災害に係る技術、研究開発及び教育の発展を目的とした連携・協力のために、平成27年3月に設置されました。
- 機構会議は、各機関から1年間の研究成果を報告いただき意見交換を行う場として毎年開催しており、和歌山県土砂災害啓発センター(那智勝浦町)を会場として対面とWEBを併用して開催しました。
- また翌日には、栗平地区（奈良県十津川村）での直轄砂防事業施工現場視察を行い、紀伊山系で取り組む事業について意見交換を行いました。
- 本会議では、研究機構の更なる発展のため、紀伊山系における研究を希望する様々な大学や研究者が参加できるよう運営要領の改訂を行いました。



土砂災害啓発センター（対面会議）での会議の様子



WEB配信の様子

＜開催日＞ 令和8年2月25日(水)
＜会場＞ 和歌山県土砂災害啓発センター（WEB併用）
＜構成機関＞ 近畿地方整備局・国土技術政策総合研究所・和歌山県・那智勝浦町・国立研究開発法人 土木研究所・北海道大学・三重大学・京都大学・和歌山大学
＜その他参加機関＞ 紀伊山系砂防事務所、近畿技術事務所

研究成果等 報告内容



開会あいさつ



現場視察

現地参加いただいた方には、栗平地区（奈良県十津川村）で実施している直轄砂防事業の現場もご視察いただきました。



研究成果について
の報告

- 【京都大学】
 - ・大規模崩壊跡地における二次的土砂移動に関する解析
- 【国土技術政策総合研究所】
 - ・地盤振動データによる大規模な土砂移動を検知するための観測局設置方法の検討
 - ・大規模地震がその後の降雨による土砂災害発生に及ぼす影響
 - ・那智川流域における景観に配慮した砂防工事の取組 等
- 【国立研究開発法人 土木研究所】
 - ・数値標高モデルと土砂移動範囲情報による簡便な河道閉塞箇所抽出の試み
- 【和歌山県】
 - ・プログラミング学習を取り入れた土砂災害防災学習の実践
 - ・小学校理科と土砂災害を組み合わせた総合的な学習の実践
 - ・災害伝承碑紹介動画の制作とその活用について 等
- 【紀伊山系砂防事務所】
 - ・測量設計業協会と大規模災害に対する共同訓練を実施 等
- 【近畿技術事務所】
 - ・DX（無人化施工技術）を活用した支援について 等
- 【近畿地方整備局 河川部】
 - ・台湾で発生した大規模河道閉塞の対応に関する技術的支援 等

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川計画課 総合土砂災害対策係
〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎 TEL 06-6945-6355

